

募集

■十和田市訪問市民ツアー

友好都市の青森県十和田市を訪れてみませんか。
【日時】10月24日(土)
【集合場所】文化会館 駐車場
【内容】十和田市現代美術館や紅葉の奥入瀬溪流などの見学
【定員】30人(先着順)
【参加料】小学生以下 2,000円、大人(中学生以上) 3,000円
【申込期限】10月9日(金)
【問い合わせ・申し込み】花巻観光バス株式会社(☎26-3122)

■市営住宅入居者の募集

団地名	戸数	間取り	入居対象
本館	1戸	1LDK	一般
本館	1戸	2LDK	一般
高木南	2戸	3LDK	一般
第2三日堀	2戸	3DK	一般
六本木	1戸	3DK	一般・单身
赤坂	2戸	2LDK	一般

【締め切り日】9月30日(水)
【入居の決定】抽選により決定
※上記以外に、入居者を随時募集している市営住宅や定住促進住宅があります。詳しくは下記へ
【問い合わせ・申し込み】花巻市営住宅管理センター(☎21-3100)

■国際フェア IN はなまき2015ボランティアスタッフ募集

11月21日(土)、午前10時～午後4時、花巻市交流会館で開催する「国際フェア IN はなまき2015」のボランティアスタッフを募集します。
【活動内容】外国料理の販売、姉妹都市の物産などの展示準備、総合案内での来場者の案内 ほか
【対象】事前打ち合わせとイベント前日・当日に参加できる人
【申込期限】10月9日(金)
※ステージ出演者、出店も募集しています。詳しくは下記へ
【問い合わせ・申し込み】(公財)花巻国際交流協会(☎26-5833)

■はなまき産業大博覧会2015出展事業者の募集

11月28(土)・29(日)、総合体育館で開催する「はなまき産業大博覧会2015」の出展事業者を募集します。
【募集内容】一般(10ブース)、商業パビリオン(10ブース)
※申し込み多数の場合は抽選
【申込期限】10月5日(月)
※申し込み方法など詳しくは下記へお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください
【問い合わせ・申し込み】はなまき産業大博覧会実行委員会(☎商工労政課内☎内線388、FAX24-0259)

■TKbjリーグ公式戦ボランティアスタッフ募集

試合をサポートするボランティアスタッフを募集します。
【試合】岩手ビッグブルズ 対 埼玉ブロンコス(開幕戦)
【期日】10月10日(土)・11日(日)
【会場】総合体育館アネックス
【活動内容】会場案内、入場整理、受け付けなど(1日6時間程度)
※申し込み方法など詳しくは下記へ
【問い合わせ】はなまきスポーツコンベンションビューロー(☎22-3444)

まなび

■古文書講座・博物館講座

①古文書講座2「花巻の商家日記を読む」
【期日】10月17日(土)

②博物館講座2「全日本刀匠会による刀の研ぎ実演・刀剣相談会」
【期日】10月24日(土)

①②共通

【時間】午後1時30分～3時
【会場】花巻市博物館
※受講無料、申し込み不要です
【問い合わせ】同博物館(☎32-1030)

■スポーツ指導者養成講習会

【対象】18歳以上の市民(高校生を除く)
【日程】10月1日～12月10日の毎週木曜日、全11回、午後7時～9時
【会場】総合体育館
【定員】20人(先着順)
【申込期限】9月25日(金)
【申し込み方法】総合体育館窓口で配布する申込用紙に必要事項を記入し、同窓口提出
【問い合わせ】(一財)花巻市体育協会(☎22-3444)

■点訳ボランティア養成講座

【日程】9月30日～11月25日の毎週水曜日、全9回、午前10時～正午
【会場】花巻市総合福祉センター
【定員】10人(先着順)
【受講料】無料
【問い合わせ・申し込み】花巻市社会福祉協議会(☎24-7222)

■新指定文化財を見に行こう

【日時】10月16日(金)、午前9時～午後4時(予定)
【内容】平成26年度に登録された指定文化財の見学 ほか
【定員】20人(先着順)
【参加料】無料(文化財ガイドブック代などは自己負担)
【申込開始日】9月24日(木)
【問い合わせ・申し込み】教育委員会文化財課(☎45-1311内線354)

■普通救命講習Ⅰ

【日時】10月18日(日)、午前9時～正午
【会場】消防本部
【内容】AEDの使い方を含めた心肺蘇生法や止血法などの講習
【定員】20人(先着順)
【申込開始日】9月20日(日)
【問い合わせ・申し込み】花巻中央消防署(☎22-6124)、東和分署(☎42-2119)、花巻北消防署(☎45-2119)、大迫分署(☎48-2030)

大正15(1926)年、農学校を退職した賢治は、現在の桜町にあった宮澤家別宅に移り、独居自炊の農耕生活を始めました。
農民生活・文化の向上を願っていた賢治は、ここに「羅須地人協会」を設立。近隣の青年に化学・土壌・農民芸術概論を講義するとともに、青年らと一緒にレコード鑑賞や農民劇、合奏練習を行いました。賢治はさらに、近隣の農村で農事相談、肥料設計や稲作指導に奔走。昭和3(1928)年、病気で入院し実家で静養するまで、この場所で生活しました。

【賢治祭】
▼日時 9月21日(月・敬老の日)、午後4時～8時30分
▼会場 桜町「雨ニモマケズ」詩碑前(雨天時は、南城小学校体育館)
▼問い合わせ 宮沢賢治記念会(☎31-2117)
【問い合わせ】
本庁賢治まちづくり課
(☎24-2111内線365)

賢治ゆかりの地
―「雨ニモマケズ」詩碑―
(羅須地人協会跡)―

賢治まなび

第41回



▲「雨ニモマケズ」詩碑(桜町)。賢治の碑の中で最も古くに建立

友好都市十和田市への交流視察研修

太田地区振興会では、役員の資質向上などを目的とした視察研修を行っています。

ことは、高村光太郎が花巻に疎開し、旧大田村山口の小屋(現在の高村山荘)で農耕自炊の暮らしを始めてから70周年。その記念として、7月に光太郎の作品「乙女の像」がある十和田市を訪ね、十和田湖奥入瀬ボランティアの会の方々と交流してきました。

一行40人は、新調したイベント用Tシャツ(表は太田地区振興会のシンボルマーク、裏には「心はいつでもあたらしく」を着用し、十和田湖観光交流センター「ぷらっと」での歓迎会に出席。多くの方から歓迎の言葉をいただいたほか、高村光太郎研究家の小山弘明さんの講演もあり、「乙女の像」制作への想いについて貴重な話を伺ってきました。

わたしたちの地域づくり

◎太田地区振興会

また、遊覧船に乗り、懇親会と十和田湖の周遊を楽しんだほか、ガイドの説明を受けながら湖畔を散策し、乙女の像の前で像建立のエピソードなどを聞くことができました。

十和田市とはもとより新渡戸家の縁で友好都市ではありますが、旧十和田湖町の合併により、光太郎を通して一層絆が深まりました。

今回の研修は、今後ますますの交流を互いに誓い合う有意義な研修となりました。



◀視察研修の様子(上:「ぷらっと」での歓迎会下:「乙女の像」前)

【問い合わせ】
太田地区振興会
(☎28-2134)